

「釧路湿原自然再生協議会」

第 23 回 旧 川 復 元 小 委 員 会

資 料

令和元年 12 月 13 日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会

－ 第 23 回旧川復元小委員会 －

日時：令和元年 12 月 13 日（金） 13：30～15：30

場所：釧路地方合同庁舎 5階 共用第1会議室

----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会

2. 議 事

- 1) 茅沼地区旧川復元事業について
- 2) ヌマオロ地区旧川復元事業について
- 3) 釧路川水系河川環境再生実施計画（案）について
- 4) その他

3. 閉 会

----- 配 布 資 料 -----

- ・ 第 23 回旧川復元小委員会 資料 ----- (資料 1)
- ・ 出席者名簿 ----- (資料 2)
- ・ 座席表 ----- (資料 3)
- ・ 第 23 回旧川復元小委員会 説明資料 ----- (資料 4)
- ・ 釧路川水系河川環境再生実施計画（案）【公開版】 ----- (資料 5)
- ・ 第 22 回旧川復元小委員会ニュースレター

釧路湿原自然再生協議会
旧川復元小委員会 委員名簿

計：51名

■個人（23名）

（敬称略、五十音順）

No	氏 名	所 属
1	石岡 透	
2	伊藤 毅	上智大学 国際教養学科 准教授
3	亀山 哲	国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態系機能評価研究室 主任研究員
4	神田 房行	北方環境研究所所長（元 北海道教育大学副学長）
5	久加 朋子	北海道大学
6	櫻井 一隆	
7	清水 康行	北海道大学大学院 工学研究院 環境フィールド工学部門 水工・水文学研究室 教授
8	新庄 興	
9	新庄 久志	
10	杉澤 拓男	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路 理事
11	杉山 伸一	環境カウンセラー（市民部門）
12	竹中 康進	
13	照井 滋晴	特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表
14	中村 太士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
15	野本 和宏	釧路市立博物館
16	早川 博	北見工業大学 工学部社会環境工学科 教授
17	針生 勤	元 釧路市立博物館 学芸員
18	日野 貴	
19	平間 清	（有）平間ファーム
20	松本 文雄	
21	矢吹 哲夫	酪農学園大学 農食環境学群・環境共生学類 教授
22	吉仲 厚裕	酪農学園大学 環境共生学類・国際理解学研究室 准教授
23	渡辺 剛弘	上智大学 国際教養学科 准教授

■団体（20名）

（敬称略、五十音順）

No	団体/機関名	代表者名
1	釧路川カヌーネットワーク	会長 小川 清史
2	釧路国際ウェットランドセンター	理事長 蛭名 大也
3	釧路市漁業協同組合	代表理事組合長 近藤 龍洋
4	釧路自然保護協会	会長 神田 房行
5	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	代表幹事 芳賀 孝朋
6	釧路湿原国立公園連絡協議会	会長 蛭名 大也
7	釧路シャケの会	会長 小杉 和寛
8	釧路水産用水汚濁防止対策協議会	会長 柳谷 法司
9	公益財団法人 日本生態系協会	会長 池谷 奉文
10	公益財団法人 北海道環境財団	理事長 小林 三樹
11	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 寒地河川チーム	上席研究員 矢部 浩規
12	国立研究開発法人 土木研究所寒地土木研究所 水環境保全チーム	上席研究員 村山 雅昭
13	さっぽろ自然調査館	代表 渡辺 修
14	標茶西地区農地・水保全隊	隊長 佐久間 三男
15	道東のイトウを守る会※	会長 神田 房行
16	塘路ネイチャーセンター	センター長 鷲見 祐将
17	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	理事長 百瀬 邦和
18	特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村	理事 佐藤 吉人
19	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道
20	北海道プロフェッショナル フィッシングガイド協会	会長 テディ齋藤

※印 第9期（後期：R1.11～R2.11）新規登録

■オブザーバー（3団体）

（敬称略）

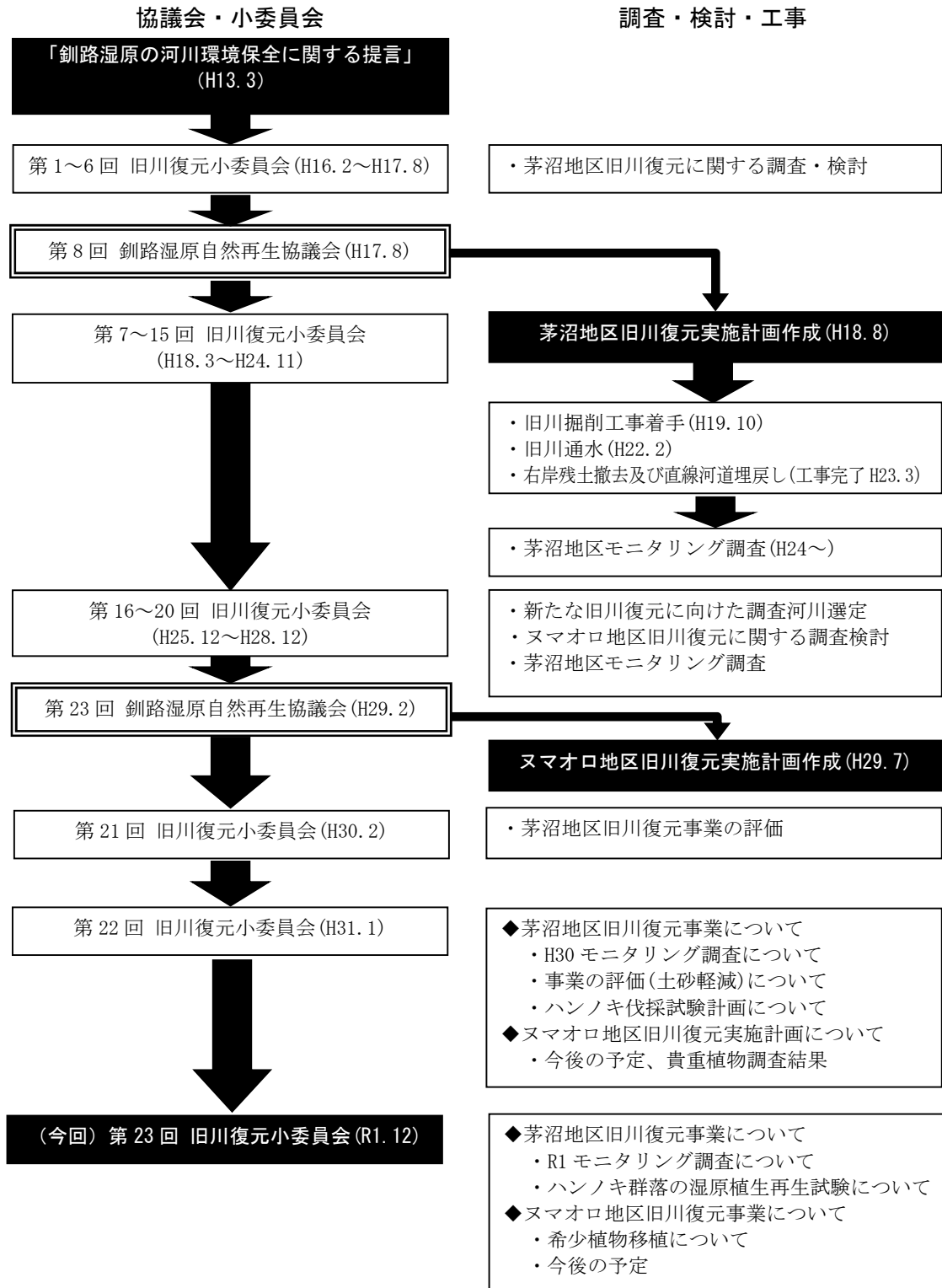
No	団体/機関名	代表者名
1	社団法人 十勝釧路管内 さけます増殖事業協会	会長 亀田 元教
2	標茶町農業協同組合	代表理事組合長 千葉 孝一
3	釧路丹頂農業協同組合	代表理事組合長 武藤 清隆

■関係行政機関（5機関）

（敬称略）

No	団体/機関名	代表者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	部長 平澤 充成
2	環境省 北海道地方環境事務所 釧路自然環境事務所	所長 田邊 仁
3	釧路市	市長 蛭名 大也
4	標茶町	町長 佐藤 吉彦
5	鶴居村	村長 大石 正行

— 旧川復元計画に関するこれまでの経緯 —



◇前回の旧川復元小委員会での課題と今後の対応方針

第 22 回 旧川復元小委員会の課題（発言概要）と今後の対応方針

項目	発言概要（課題）	回答および今後の対応方針
茅沼地区旧川復元事業について	<ul style="list-style-type: none"> 旧川復元前後での地下水位の変化は地盤高が変わっているため地盤標高をゼロとした差分のグラフだけでは分かりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 標高で整理したグラフについても資料に示した。
	<ul style="list-style-type: none"> ハンノキの環状剥皮のモニタリングでは、年輪による平均樹齢、肥大生長、樹幹解析による容積等を把握しておくとい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、具体の調査計画を検討する際に考慮したい。 今年度調査を行ったので結果を示す。
ヌマオロ地区旧川復元事業について	<ul style="list-style-type: none"> 重要種の移植は、他地域でも事例があるので参考にするとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 道内の移植事例を参考にするとともに、学識者の助言を得て実施した。